

米胚芽由来グルコシルセラミドに うるおいのある、健やかな美肌をつくる効果 摂取することで、顔も全身もスキンケア

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：釘丸和也）は、米胚芽由来のグルコシルセラミドを摂取すると、肌が美しく整えられることを発見しました。米胚芽由来のグルコシルセラミドには、毎日摂取すると以下の作用が期待できます。

- ① 摂りはじめて4週間で、顔や体の肌から水分が蒸散しにくくなる(バリア機能が高まる)
- ② 肌がうるおうことで見え目も改善する
- ③ 肌が改善したことを、約90%もの人が実感

この知見は、オルビスの商品をはじめ、ポーラ・オルビスグループの商品に活用される予定です。

グルコシルセラミドについて

グルコシルセラミドは、肌のバリア機能を担う重要な成分セラミドの前駆体^{※1}です。セラミドは、肌表面の角層の細胞同士の隙間を埋める細胞間脂質の主な成分で、肌の内部の水分が蒸発するのを防ぐことで、肌にうるおいを保ちます。しかし、加齢や睡眠不足、ストレスなどで肌のセラミドが減少してしまうと、乾燥や肌荒れなどの肌トラブルを引き起こすと言われています。 ※1 ある物質が生成される前段階の物質

グルコシルセラミドは植物中にも存在しますが、その含有量はわずか0.001~0.002%程度です。ポーラ化成工業では、日本人が古来より食べなれてきた米に着目しました。グルコシルセラミドを比較的多く含む胚芽^{※2}の部分からグルコシルセラミドを取り出し、酸化されやすい不純物を取り除いて純度を高めたものを「DF-セラミド」と名付け、その機能性について研究しました。 ※2 植物の種子の中にあり、芽となって成長する部分

4週間で肌から水分が逃げにくくなり、うるおいもアップ

乾燥した肌は、肌のバリア機能が弱く、水分が逃げやすくなっています。一般の男女133名による試験では、DF-セラミドを毎日摂取したグループは、摂取しなかったグループに比べて、肌からの水分蒸散が抑えられていました（補足資料1）。効果は飲み始めて4週間という短期間で現れました。また、顔だけでなく手足や背中などでも効果が確認され、全身の肌のバリア機能が強化されていることがわかりました。

肌のバリア機能が弱まると、肌が乾燥してしまい、透明感のなさや小ジワなどの様々な肌悩みや肌のエイジングが起りやすくなってしまいます。DF-セラミドは、これらの悩みを解消することが期待できます。

同様の試験で、肌の見え目の改善も確認できました（図1、補足資料2）。この試験でDF-セラミドを摂取した人のうち、89%もの人が、乾燥の改善を実感していました。また「化粧のりがよくなった」「お風呂上がりの肌のツッパリ感がやわらいだ」など、肌の改善を実感する声も寄せられました。



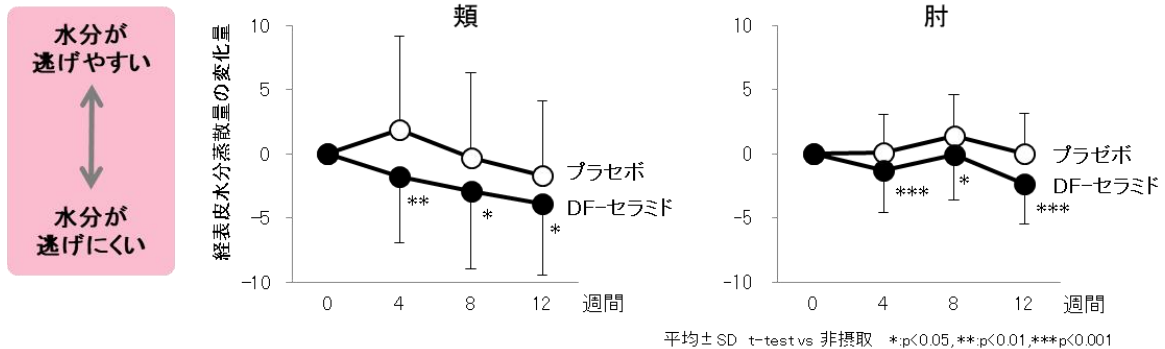
【補足資料】

補足資料1 DF-セラミドの水分蒸散量抑制作用

代表的な部位として、頬、肘における肌からの水分蒸散量を下のグラフに示します。

DF-セラミドを摂取したグループでは、摂取していないグループと比較して、顔と体の肌からの水分蒸散が有意に抑制されることが確認できました。

DF-セラミドを摂取すると、肌から水分が逃げにくくなる



【試験方法】

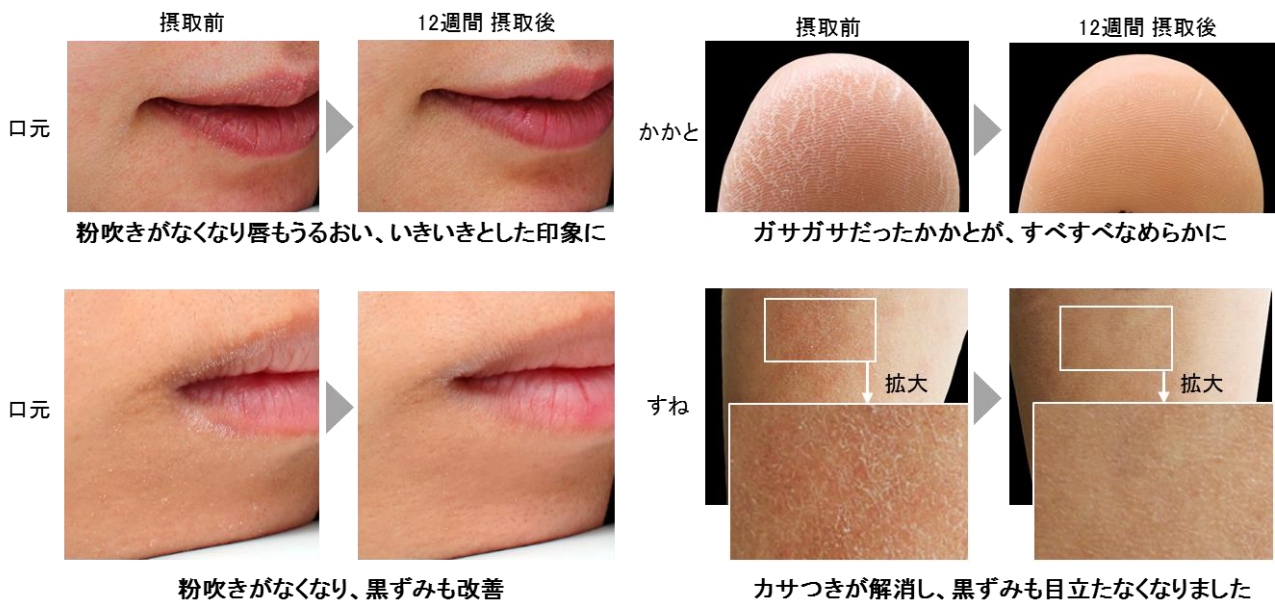
被験者：顔や体の乾燥などによる肌荒れを自覚している成人男女133名
試験食品：1包あたり1.8mgのDF-セラミドを配合した顆粒状食品
または DF-セラミド無配合の顆粒状食品(プラセボ)
試験期間：12週間(1日1包を摂取)
試験部位：顔(頬)、体(背中、ひじ、首、足の甲)
測定項目：経表皮水分蒸散量(TEWL)



補足資料2 DF-セラミドによる見た目の改善作用

DF-セラミドの摂取により、見た目も大幅に改善しました。かさつきがなくなるだけでなく、肌がなめらかになる、黒ずみが軽減するといった変化も見られました。

DF-セラミドを摂取すると、肌がうるおうことで見た目もきれいに



ポーラ化成工業の美肌食品開発について

肌は体内のコンディションにも大きな影響を受けることから、ポーラ化成工業では、体内の内側から肌に働きかける素材の研究にも力を入れています。中でも、乾燥に悩んでいる多くのお客さまからの声を受け、肌本来の「うるおいを守る働き」を高める機能性食品素材の開発に注力してきました。